

平成23年度当初予算 予算要求シート

整理番号 14 - 029

局・課名／ 子ども青少年局 保育施策推進室

(単位 千円)

事業名	家庭的保育事業	平成21年度決算額	平成22年度予算額	平成23年度要求額
関連事業	事業費	24,655	44,836	44,496
	事業期間	H ~ H	全体事業費	
事業目的	保育所入所待機児童の解消及び多様な保育サービスの提供	今年度要求のポイント 本事業のリスク低減を図るとともに国が定める基準（補助要件）を満たすため、家庭保育員、補助者等に対する研修を実施する。		
事業内容	<p>児童福祉法施行規則が定める家庭保育員の条件や設備基準をもとに市として一定の要件等を設け、所定の研修を受けた者を家庭保育員として認定。</p> <p>家庭保育員は市の委託を受けて居宅等で保護者に代わって乳幼児を保育する。</p> <p>市は本事業が適正かつ円滑に実施できるよう、連携保育所を指定するとともに家庭保育支援員を配置するなどの支援をおこなう。</p> <p>家庭保育室の利用者は、税額等による階層区分に応じた利用料金を家庭保育員に支払い、家庭保育員は利用者から受け取った利用料金と基本保育費との差額を市から委託料として受け取る。</p>	主な要求内容 (単位：千円)		
		項目	22年度予算	23年度要求額
				内容・積算等
		家庭保育支援員報酬	3,127	3,189
		家庭保育支援員通勤費・旅費	209	273
		家庭保育運営・研修委託料	36,843	37,467
		家庭保育事業運営補助金	3,600	2,520
		研修参加負担金	0	50
		軽四輪点検・修繕	0	75
		その他	1,057	922
		合計	44,836	44,496
スケジュール（経過及び今後展開）			その他 特記事項	
<p>【経過（～22年度）】</p> <p>平成21年1月からモデル事業として実施。平成22年4月1日時点で6か所定員22人。</p> <p>今年度内に利用者と家庭保育員に対する調査を実施。</p>	<p>【23年度】</p> <p>調査結果やみんなの審査会において寄せられた意見、提案などをふまえながら、待機児童解消策や多様な保育サービスの一つとして事業内容の検証や見直しを行う。</p>	<p>【今後（～24年度）】</p> <p>検証や見直しの結果をもとに事業を進めていく。</p>		